Koshu shigikai kouhou

甲州 議会広報

No.9
31.JAN
2008

1/31号

特集① あの問題どうなった？
特集② 12月定例会レポート
水道料金値上げ問題
勝沼・大和地域の大幅な値上げを回避する修正案を否決
全国統一学力テスト結果の検証は
人口減少に対する今後の具体策は ほか
一般質問

シリーズ①「今、これに夢中・・・」

集中力が付く書道をずっと続けていきたい

塩山中学校２年生の鈴木舞さん（塩山西広門田）は、平成１９年度甲州市塩山地域文化祭の書道の部において市長賞を受賞しました。小学校２年生から習い始め、昨年特待生を取得。所属する吹奏楽部ではクラリネットやサックス、マーチングのドラムメジャーもこなす鈴木さんは「１月は席書大会や書初め大会に出品します。書道はとても集中力が付き、うまく書けた時はとてもうれしいです。これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいですが、書道はずっと続けていきたいです。」と笑顔で話してくれました。

特集①

追跡レポート・一般質問のその後を追う

甲州市が誕生して2年が経過しました。各定例会では市当局の政策や姿勢を問う一般質問が行われ、活発な議論が行われています。しかし、あのときの質問は、その後どうなっているのでしょうか。3つの質問を取り上げ、その後の経過を追ってみました。

あの問題はどうなった？

農業振興 施策を問う

甲州種ぶどうの安定した取引システムの構築を検討

◆甲州種ぶどう・ワインの振興策は

問　甲州ぶどうは生食用、ワイン原料用ともに価格が伸び悩み、栽培面積も生産量も年々減少しているが、一方で甲州ワインが世界的に認められつつあることも事実である。振興策について伺いたい。

◆消費拡大事業を継続的に展開

答　市長　ぶどう生産者とワイン産業を結ぶ品種が甲州ぶどうであり、守り継承していくため産地としての強化はもとより、生食用のぶどうや甲州種ワインの消費拡大などの諸事業を継続的に、また積極的に展開していきたいと考えている。（平成18年3月に質問）

追跡 **その後を追う**

今年度は甲州種ワインの地元での消費拡大を目指し、11月19日（月）に市内の料理飲食業、宿泊業関係者等を対象とした「ワインと食セミナー」を開催、甲州種ワインと一品料理を試食・試飲し、和食に合うと言われる甲州種ワインの良さを探求していただきました。また2月9日（土）には、有識者によるセミナーを開催する予定であり、今後も更なる甲州種ワインの消費拡大につながる事業を実施していく予定です。

甲州ぶどう振興策としては、甲州種ぶどうの品質向上、需給安定などを検討するため、昨年度から「市ぶどう・ワイン産地確立会議」を設置いたしました。この会議では、甲州種ぶどう（勝沼地域）の系統取引による糖度取引制度の実施や取引価格の調整など、安定した取引システムの構築を目指した検討などを行っています。また、ワイン原産地呼称制度を平成20年度中に条例化する予定であり、ワイン用ぶどうとしての甲州種の振興を図る上で、基礎となる資料づくり、台帳等の整理についても視野に入れています。

市内の料理飲食業、宿泊業関係者等を対象とした「ワインと食セミナー」を開催。今後も、更なる甲州種ワインの消費拡大につながる事業の実施を期待したい。

子育て支援 施策を問う

平成18年11月から県内自治体で初めて助成を実施

◆インフルエンザ予防接種公費助成の実施時期は

問　幼児、児童のインフルエンザ予防接種について、公費助成を、この秋頃から実施すると理解してよろし

定期的に行われている子育て講座。今後も更なる子育て支援対策の充実が望まれている。

納税者の利便性の確保と徴収率の向上に向け、平成20年4月からコンビニエンスストアでの納税が可能になる。

いか伺いたい。

◆新年度から公費助成に向け検討

答　市長　医師の意見も接種が効果的であり、助成は望ましいという見解をいただいた。新年度の実施に向けて検討している。

（平成18年3月に質問）

追跡 その後を追う

幼児、児童へのインフルエンザ予防接種公費助成については、本市が県内自治体で初めて、平成18年11月から実施しています。助成対象は幼児（3歳）から小学校6年生（12歳）までで、通常2回の接種ですが、このうち1回分の接種に対し助成しています。

収納対策の施策を問う

平成20年4月からコンビニで納税可能なシステムを導入

接種の状況は、昨年度の接種助成対象者数3431人に対して、1922人の接種に助成を行いました。受診率では、56・02㌫となっています。

インフルエンザ予防接種は、BCG、麻しん風しん混合、3種混合などの「個別接種」、また、ポリオ（生ワクチン）の「集団接種」と違い「任意接種」となっています。保護者の希望により、医師から効果・副作用の説明を受け、同意のもとでの接種です。

受診医療機関は、市内及び周辺医療機関と契約し助成を行っていますが、当初の17医療機関から本年度は25の医療機関と契約し広範囲となりました。

病気への対策には予防接種は欠かせません。毎年接種となり、流行するインフルエンザの「型」も変わりますが、健康管理という上で、感染予防・まん延防止のためこの事業は大切なものとなっています。

◆市税の納入方法、支払いやすい工夫を

問　市税の支払い方法について、昨年から県の自動車税がコンビニエンスストアなどで納入できるようになった。また、自治体によってはクレジットカードなどでの納入方法も検討されているようだが、支払いやすい工夫を、どのように考えているか伺いたい。

◆先進事例を検討し、徴収率の向上に結び付けたい

答　税務課長　市税の納入方法については、現金または口座振替をお願いしているが、納税が困難なかたには分割納付など、個々の状況に応じた対応をしていく。業務時間内に納税が困難な方については、水曜日の夕方の時間延長や昼休みも職員の当番制により対応しているが、納税者の利便性を確保し、徴収率の向上に結びつけるためにも、先進事例などについて、検討していきたい。

（平成18年6月に質問）

追跡 その後を追う

国から税源移譲等の改革が行われ、地方自治体が財源確保の環境を整備する必要がある中で、平成20年4月からコンビニエンスストアによる納税可能なシステムを導入する予定です。これは「全国どこでも」「24時間いつでも」納税が可能となるもので、扱う税は、市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の4税目で、納税の機会を広げることにより、市民サービスと収納率の向上、また事務の効率化に大きく寄与できるものと期待しています。総務省では、数年後に50㌫の自治体が導入を終えていることを目標とした「マルチペイメント公共料金支払システム構想」を推進していますが、今後も積極的に取り組み、市民サービスの向上や行政組織の効率化、経費の削減化につながる事業を推進していきたいと考えています。

特集②

12月定例会レポート

問題を回避する修正案を否決

平成19年甲州市議会12月定例会は、12月7日から12月21日までの15日間の会期で開かれました。条例案や平成19年度一般会計補正予算案など29件の事件が提出され、すべての事件を原案のとおり可決、同意しました。（付託事件の審議内容については、委員会レポートを参照）

なお、甲州市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定については、付託された建設経済常任委員会で委員長に提出され、採決の結果、可決すべきものと決した修正案に対して異議が出され、討論・採決の結果、賛成多数で原案が可決されました。審議の内容を要約してお伝えします。

やまと天目山温泉 市外使用料基準額を追加

◆甲州市立勝沼病院施設整備基金条例制定については、公営企業経営健全化計画を策定するに当たり、勝沼病院事業会計における現在まで積み立てた損益勘定留保資金等を、同病院の施設整備用の資金として積み立てることにより、今後の財政需要に備え、健全化に努めるため、基金を設置する必要があることから制定するもので、可決しました。

◆甲州市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定については、健康保険法等の一部を改正する法律により、一定の65歳以上の老齢等年金給付の支払いを受ける国民健康保険の被保険者である世帯主からの国民健康保険税の特別徴収について規定する地方税法の改正が行われ、平成20年4月1日から施行されることに伴い、所要の改正を行う必要があることから、制定するもので、可決しました。

◆甲州市やまと天目山温泉資源活用施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定については、やまと天目山温泉資源活用施設において、市外在住者の使用料基準額に「1人3時間以内」の区分を設けることにより、利用者の利便性を向上させ利用者の増加を図り、健全な温泉運営を行うため制定するもので、可決しました。

◆甲州市水道事業給水条例及び甲州市簡易水道条例の一部を改正する条例制定については、合併協議における調整方針である地域間格差の是正及び峡東地域広域水道企業団への受水費の支払い等を勘案し、水道料金の改定を行うもので、建設経済常任委員会で委員長に提出され、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決した修正案に対して、異議が出され、討論・採決が行われ修正案は否決。また原案についても異議が出され、討論・採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

多くの利用者で賑わうやまと天目山温泉。市外利用者について、3時間以内500円という料金が追加された。

■修正案の賛成討論　原勝　基本料金の統一、累進料金設定については、塩山の従来の累進料金設定に統一することには賛成だが、物価の値上げが続いている時期であり、値上げ幅を少しでも和らげるため、修正案に賛成である。

■採決結果　賛成9　都倉義男、曽根益彦、野尻陽子、平塚義、古屋匡三、夏八木盛男、原勝、丸山国一、武藤雅美、

反対10　廣瀬元久、田邉民男、廣瀬宗勝、岡武男、古屋久、廣瀬一、廣瀬重治、矢野義典、桐原正仁、中村勝彦

■原案の反対討論　野尻陽子　住民税等の負担増に加え、生活用品の値上げラッシュが始まり経済的弱者に深い打撃を与えるが、行政

甲州市議会臨時会（11月）を開会

井尻小学校校舎耐震補強第2期工事を実施へ

第2期耐震補強工事が進む井尻小学校。1日も早く、安全で安心した教育環境の確保が望まれている。

平成19年度甲州市議会臨時会（11月）が11月26日に開会されました。主な内容を要約してお伝えします。

■甲州市土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例制定については、農地災害復旧事業を実施するに当たり、受益を受ける者から、同事業の費用に充てるため徴収する分担金の額を加えるもので、可決しました。

■平成19年度甲州市一般会計補正予算（第5号）については、井尻小学校校舎耐震補強工事について、耐震補強判定会の指導により第2期耐震補強工事費1億1870万円及び工事設計監理費300万円を追加するもので、可決しました。

水道料金値上げ

勝沼・大和地域の大幅な値上げ

当局として何らかの配慮があってしかるべきではないか。限られた収入で暮らす方々への配慮を欠く一方的な値上げは反対である。

■原案の賛成討論　桐原正仁　合併後速やかに統一されることになっていた水道料金の1回目の調整が行われるが、生活に一番大事な水だからこそ、安定供給が絶対である。今後の調整が最小限の調整で済むよう要望し、賛成する。

■採決結果　賛成10　廣瀬元久、田邉民男、廣瀬宗勝、岡武男、古屋久、廣瀬一、廣瀬重治、矢野義典、桐原正仁、中村勝彦

反対4　都倉義男、野尻陽子、平塚義、古屋匡三

退席5　曽根益彦、夏八木盛男、原勝、丸山国一、武藤雅美

塩山B&G海洋センター指定管理者を指定

◆平成19年度甲州市一般会計補正予算（第6号）は、歳入歳出にそれぞれ3億9133万9000円を追加するもので、主な内容は、総務費へ合併振興基金積立金等3億8149万1000円、民生費へ児童保護措置費等9520万1000円を追加するもので、可決しました。

◆平成19年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出にそれぞれ3億5037万7000円を追加するもので、主な内容は、保険給付費へ1億3030万円、老人保健拠出金へ2439万円、諸支出金へ1億4337万7000円を追加するもので、可決しました。

◆第1次甲州市総合計画基本構想については、甲州市の長期にわたる総合的かつ計画的な行政運営を図るため、平成20年度から平成29年度までの10年間にわたる甲州市総合計画基本構想を定めるもので、可決しました。

◆甲州市塩山B&G海洋センターの指定管理者の指定については、株式会社フィッツを指定することについて、可決しました。

◆井尻小学校校舎建築工事に係わる責任に関する和解については、工事請負者及び設計管理者との間において、協議を重ねた結果、建設から28年が経過し法律的な責任は協議できないと判断したため、関係費用などについて協議し、和解することになったもので、可決しました。

◆人権擁護委員の推薦について、田邉紀俊氏（64・塩山下於曽）、土屋英文氏（57・塩山三日市場）、雨宮一布氏（65・勝沼町上岩崎）、飯塚晴秀氏（63・勝沼町菱山）を推薦することに同意しました。

関係機関へ意見書を提出

◆日豪EPA交渉に関する意見書、公共工事における賃金等確保法の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書を可決し、関係機関に送付しました。

◆身体障害者に対する駐車禁止除外指定の対象範囲の基準を従前の対象者を排除しないようとする意見書、教育予算の拡充と教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書及び、障害者施策推進協議会設置を求める決議を可決し、関係機関へ送付しました。

◀勝頼公墓所周辺の測量が終了する景徳院。来年度は墓を戻す予定である。

総務

職員の超過勤務手当抑制する取り組みを実施

12月定例会において、総務常任委員会に付託された事件は、条例案や一般会計補正予算案など合計7件。12月19日に第一会議室で開催し、慎重審査の結果、すべての付託事件を可決すべきものと決しました。審議の内容を要約してお伝えします。

■甲州市立勝沼病院施設整備基金条例制定について

問　これまで制定、廃止と二転三転したが、制定する理由を伺いたい。

答　**勝沼地域総合局長**　国から公営企業経営健全化計画の策定に当たり、施設整備用の資金について、基金の積み立てを行うよう要請があり設置するものである。

■甲州市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

問　年金受給者の世帯主から国保税を特別徴収できるとのことだが、対象者をどのくらい見込んでいるのか伺いたい。

答　**税務課長**　対象者は今年の所得に対してのため、来年確定するが、約850世帯を見込んでいる。

■平成19年度一般会計補正予算（第6号）

歳入

問　文化財保護費補助金について、景徳院事業は、今年度で終了するのか伺いたい。

答　**財政課長**　経石の調査分析委託、勝頼公の墓所周辺の測量委託が今年度終了する。来年度は墓を戻す事業を行う予定である。

歳出

問　職員の超過勤務手当が、当初予算より増えている。どう考えているか。

答　**総務企画部長**　昨年度の決算額に比べると全体の額では削減されているが、全庁的に抑制する取り組みを行っている。

■第1次甲州市総合計画基本構想について

問　人口について増加、維持、減少のどの視点を想定した計画なのか。

答　**総合政策課長**　人口は減少している状況であるが、人口増加にむけた計画である。

問　総合計画策定の前に自治基本条例を制定すべきだと思うがどうか。

答　**総合政策課長**　住民参画のもと、審議をしていただくよう考えていきたい。

教育民生

景徳院の経石保存県立博物館への依頼を検討

教育民生常任委員会に付託された事件は9件。12月18日に第一会議室で開催し、すべての事件を可決すべきものと決しました。審議の内容を要約してお伝えします。

■乳幼児医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について

問　県が窓口無料化を進めるに当たり、本市が加入し、窓口無料化が拡大できると理解してよろしいか。

答　**福祉保健部長**　窓口無料化は、県の政策課題であり、県ではどのようなシステムを構築するか検討されてきている状況である。

問　市民にはメリットがあるが、医療費の増加が懸念されるがどうか。

答　**福祉保健部長**　健康増進課を中心に、予防事業で対応していきたい。

問　対象者に対しての告知や広報はどうするのか。また、対象者は申請が必要か伺いたい。

答　**福祉保健部長**　市でも広報でPRしたいが、対象者には通知を出したいと考えている。

■平成19年度一般会計補正予算（第6号）

問　景徳院の経石について、今後の事業はどこが主体で行うのか。

答　**生涯学習課長**　墓は県指定の文化財だが、経石は市の管理が良いというこ

▶4月から指定管理者が導入される塩山B&G海洋センター。移行後も管理者との連携・連絡体制の確保が望まれている。

▲平成20年度から琴川ダムからの受水が開始。上水道、簡易水道あわせて約2億3500万円の受水費の支払いが始まる予定である。

とで、市が事業主体で、国・県の補助金を受け、経石の分析も含め発掘調査を行う予定である。

問　経石の展示を考えているのか伺いたい。

答　**生涯学習課長**　保管、保存は難しいので、県立博物館などに公開も併せお願いしていきたい。

■塩山B&G海洋センターの指定管理者の指定について

問　指定管理料を2790万円払うが、今までの経費と売上げは。またどのくらいのメリットがあるのか伺いたい。

答　**スポーツ振興課長**　平成18年度の収入は約460万円で、支出は総額約5154万円である。市が払う経費を取り除くと約4540万円で、必要経費を差し引くと約1100万円の効果がある。

問　サービスの向上が図られ、利用しやすい施設を目指して、業者との連携、連絡を密に対応していただきたいが考えを伺いたい。

答　**スポーツ振興課長**　すべてを任せするのではなく、週に1回は現地を視察し、ミーティングを実施したいと考えている。

建設経済

建設経済常任委員会は12月18日に第一委員会室で開催しました。審議の内容を要約してお伝えします。

50㌢を超える値上げを回避する水道料金の修正案を提出

■甲州市やまと天目山温泉資源活用施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

問　改正内容を伺いたい。

答　**観光産業部長**　市外利用者は一日800円だが、3時間以内の利用では500円とする内容である。

■甲州市水道事業給水条例及び甲州市簡易水道条例の一部を改正する条例制定について

問　水道料金の統一について、詳しい説明を。

答　**水道課長**　峡東水道企業団の受水費が1立方㍍110円に消費税を加えた額となる。上水道は1億5000万円、簡易水道は1億3000万円の支払いが平成20年度から始まるが、試算すると上水道は約6000万円の赤字の見込みであり、今回の改正は、水道審議会から答申をいただいた。

問　今までの黒字分を還元する姿勢はないか。

答　**水道課長**　平成19年度は、やや黒字が出る見込みだが減債積立金に積み立てなければならないので、次年度の赤字に充当できるよう検討したい。

問　簡易水道はどうか。

答　**水道課長**　上水道より給水原価が高いが、不公平を無くすために上水道と同一料金とさせていただきたい。簡易水道の試算では、塩山地域は約8338万円、勝沼地域は約9463万円、大和地域は約1176万円の赤字の見込みである。

問　例えば26立方㍍以上の使用部分を、10円値下げした場合はどうか。

答　**水道課長**　上水道は、10円値下げで試算すると約900万円赤字が増加する。

◆動議として、この条例案に対して勝沼、大和地域の50㌢を超える料金の値上げを回避する修正案を委員長に提出され、起立採決の結果、修正案を可決すべきものと決しました。

◆修正案の説明　26立方㍍以上の使用部分を10円ないし11円値下げする修正案である。赤字分についてはこれまでの黒字部分と企業努力で対応をお願いしたい。

◆採決結果　**賛成3**　都倉義男、平塚義、古屋匡三

反対2　廣瀬一、廣瀬重治

◀観光専用路線の運行は、既存の市民バス路線の活用が検討されている。

まちづくり

観光専用路線運行ではなく 既存の市民バスを活用

まちづくり等調査特別委員会は、11月26日に開催されました。主な内容を要約してお伝えします。

■庁舎移転計画の現状及び今後の予定について

説明　総務企画部長　旧シルクを、来年度には土地開発公社から市が買い戻す予定であるが、現在各課に課の配置等について説明を行い、意見を聴いている。また、市民の意見を聴くための組織を、12月にはスタートさせたいと考えている。

問　商工会、ハローワークの入居についてはどうか。

答　管財課長　現在交渉中であり、負担金等を含め回答はいただいていない状況である。

問　地下のスペースに、ショッピングスペースが望まれているが状況は。

答　管財課長　ショッピングセンターの入居も交渉段階である。

問　最初に想定したものが、架空の話になってしまい不安が残るがどうか。

答　総務企画部長　話が十分煮詰まっていないことに反省点はあり、今後ひとつひとつ詰めていきたい。

問　エコシステムの導入について、検討経過は。

答　管財課長　エスコ事業は、庁舎の建て替えを行った後の実績がないと対象にならない。また、もっと大きな施設でないと採算が取れないという状況であり断念したが、他のエコシステムを検討している。

■観光に向けてのバスの運行について

説明　観光産業部長　新たな運行ではなく、観光客向けに既存バスの接続案内を、それぞれの停留所に設けて、案内していきたい。

問　観光客のニーズを把握して、バス案内を考えるべきと思うがどうか。

答　観光産業部長　乗り継ぎ時間とモデルコースの時間を設定し、市内半日、一日コースというような目的別コースを作成し、案内していきたい。

問　市民バスであれば100円で良いが、観光面では相応の料金を徴収するべきだと思うがどうか。

答　観光産業部長　観光客と市民の利用の区別は、現状ではできない状況であり、市民バス料金で利用していただくしかない現状である。

問　観光専用路線運行を検討しているのか。

答　観光産業部長　市長は、観光を含めたバス運行をしたいと言っているが、経費面もあり指示は出ていない。既存のバスの活用で当面は利用していきたい。

学校施設

市内学校施設の耐震診断 今年度中にはすべて終了

学校施設調査特別委員会は、井尻小校舎耐震補強工事の現況報告として、3回開催されました。主な内容を要約してお伝えします。

■10月29日は、プレハブ校舎の状況と新たな補強計画の現況について説明を受けた後、質疑を行いました。

説明　学校教育課長　プレハブ校舎の入札を行い、リース契約を結んだ。11月中旬に完成し、3月末までの契約である。補強計画は、11月1日に判定会を行い検討し、中旬に再度判定会をお願いする予定である。

問　故障箇所や面積はどの位あるか。また原因が、経年劣化か粗雑工事か専門の調査の結果は。

答　建設課長　判定会後に報告書が提出される予定である。

問　新築したらどうか。

答　学校教育課長　新築は4億円以上かかる。判定会の結果をもとに検討したい。

■11月26日に開催された委員会では、最終的な報告書の説明を受けた後、質疑を行いました。

説明　学校教育課長　建設当時の請負業者、監理監督会社の技術力の未熟施工により、躯体コンクリートに腐食が多数見受けられた。そのため新たな補強計画が決定されたので、補強補修を実施したい。

問　今回の補強工事で、今後何年持つのか。

答　建設課長　60年は対応できると考えている。

問　施工監理を厳しくす

委員会レポート

べきと考えるがどうか。

答　副市長　今後は、市のチェック体制も考えていきたい。

■12月17日は、ハツリ箇所と面積の報告、同年代に建設された校舎について説明を受けた後、質疑を行いました。

説明　建設課長　ハツリの結果、補修や撤去など総面積が11・96平方㍍である。

説明　学校教育課長　塩山地域は校舎と屋体をあわせて9校、勝沼地域は2校の耐震補強が必要である。

問　井尻小学校の地下部分は検査しているのか。

答　建設課長　柱の関係で部分的に行った。

問　耐震補強については、すべての学校に着手していると理解してよろしいか。

答　学校教育課長　今年度中には全て診断が終わるが、結果を検討して実施していく予定である。

▲今年度中にはすべての耐震診断が終了予定の市内小中学校の校舎。診断結果を踏まえ、早急な対応を期待したい。

市民フォーラム　テーマ「わたしの健康の秘訣」

適度なスポーツの継続

山下　嘉幸さん（塩山熊野）

わたしの健康の秘訣は、一にも二にも適度なスポーツの継続にあると思います。わたしは若い頃から硬式テニスをしていますが、毎週水曜日に勤労青少年ホームのコートで、木曜日には小瀬スポーツ公園のテニス場で練習試合を実施しています。もちろん練習ばかりでなく、県外へも皆様とともに出向したことも幾度かあります。84歳になっても、いまだ現役でスポーツに興じられることを何よりも誇りに思い、継続は健康の秘訣と信じています。

良く食べ動き眠ること

砂田　京子さん（勝沼町下岩崎）

健康の要は良く食べ動き眠ることだと思っています。食と眠は充実していますが、動の実行が難しく行動に移せずにいましたが、夫のウォーキングを機に、友人と歩き始めました。徒然におしゃべりしながら歩くひと時はとても楽しく、ストレス解消になり、体も軽くなりました。

情報が氾濫する昨今、何を選択するかが重要ですが、行政の各種教室に託児室などがあれば、若いお母さんたちも安心して参加でき、多世代交流の場にもなるのではないでしょうか。

よく動くことと バランスの取れた食生活

雨宮　芙美子さん（塩山上於曽）

昭和9年生まれのわたしの健康の秘訣は、よく動くこととバランスの取れた食生活です。果樹栽培をしているわたしは、好天の日はほとんど外で働いています。

自家栽培野菜を使った食事づくりでは、市が提唱している手ばかりを参考にしています。両手にのるごはん、そして野菜と果物。片手にのる魚、肉など。牛乳、卵も1日1回はとっています。もっと多くの市民に手ばかりを参考にして欲しいですね。そして、打ち込める趣味を持つことも大切です。

ウォーキングが習慣に

髙島　茂さん（勝沼町菱山）

健康の元は歩くことにあると思っています。現役だった頃は、仕事の中でそれなりに歩き、またサークルで月に一度の山歩きもありましたが、今は歩くことが不規則になってきました。そんな中で昨年、甲州市の「健康チャレンジ50」に妻と一緒に参加しました。始めは面倒でしたが参加しているという意識から、一日一万歩以上歩くことが習慣になりました。今年もまた参加したいと思っていますが、今後も行政の積極的な取り組みをとおして、市民の健康づくりを応援していただきたいと思います。

市民フォーラム

一般質問
丸山国一議員

Q 全国統一学力テスト結果の検証は
A 基本的知識を活用する力を育成したい

問　教育問題について、食中毒、井尻小の耐震問題があったが、どのような見解を持っているか。

答　学校教育課長　食中毒については、監督指導が行き届かなかった点に責任を痛感している。井尻小学校は、児童が一日でも早く安全・安心な教育環境で勉強ができるよう努力していきたい。

問　全国統一学力テストの結果の検証はどうか。

答　教育長　小中学校18校が参加し、平均正答率は県との比較でマイナス1.1ポイントからプラス2.5ポイントの範囲であった。今後は基礎的、基本的な知識をさらに身に付けさせ、活用する力を育成させていきたい。

問　いじめ問題について現状を伺いたい。

答　教育長　12月の実態調査では、小学校で15名、中学校で6名がいじめを感じている状況である。

問　生徒自身がいじめに関してどのような感覚を持っているのか。また、先生のいじめに対する意識改革も必要と思うがどうか。

答　教育長　調査で、いじめが悪いと思わない生徒が10ポイント近くいた事が残念に思う。いじめられた生徒の中には、親や教師に言ってもしょうがないと感じている子どももいるので、なお一層の心配りをして、指導していきたい。

問　小中学校の学力低下は、ゆとり教育からきているのか伺いたい。

答　教育長　学習到達度調査では、さらに下降している結果であるが、ゆとり教育イコール学力低下という図式で、学校教育の枠を超えて社会問題化している。ゆとり教育の理念は誤りでないが、教師の教え込むことへの躊躇などがあった。現在は指導要綱の見直しも進められている状況である。

県立射撃場受入問題
基本理念との整合性は

問　県立韮崎射撃場の現在の利用状況はどうか。

答　総務企画部長　平成18年度の利用状況は220日の営業で、各種大会が49回行われ、利用者は5104人である。

問　寄附された神金地区の土地の一割を射撃場に使うようだが、残りをどうするのか。また、現在の管理状況はどうか。

答　総務企画部長　土地活用については、庁内検討委員会を立ち上げ検討している。現在の管理は管財課で行い、管理費用はかかっていない状況である。

問　射撃場の移転は、観光立市で自然や景観保護を謳う本市の基本理念との整合性をどう考えるか。

答　総務企画部長　社会的な認知度は低いスポーツだが、オリンピックでも陸上に次ぐ参加国の多い競技であり、十分整合性は図れると考えている。

問　合併時に先送りになっていた、事務事業のすり合わせ状況を伺いたい。

答　総合政策課長　事務事業の調整については、難しいものもあり、迅速な推進が求められている。

問　第1次総合計画基本構想作成に当たり、市民の声をどう把握したのか。

答　総合政策課長　意識調査や各地域総合局ごとに説明会を行い、市民の意見や要望を反映した。

問　人口の推移における減少状況への対策は。

答　総合政策課長　今後12年間で3498人が減少すると予測しているが、観光客などの交流人口を少しでも上乗せし、生活環境を整え、人口の流出を抑えるとともに、近隣からの流入が図れればと考えている。

問　道路、水路の維持管理について、要望があると思うがどう計画的に進めるのか。

答　建設課長　建設課だけで年間70件あり、受付済み残も180件ある。予算も限定される中、最少の費用で最大の効果を上げるよう、努力していきたい。

プレハブ校舎での井尻小学校の児童たち。耐震補強第2期工事は3月末に終了し、校舎に戻る予定である。

一般質問
中村勝彦議員

Q 議会本会議出席管理職 なぜこんなに多いのか
A 来年度から部長だけにしたい

問　甲州市となり部制を敷き、本年3月に組織機構の見直しを行ったが、管理職の役割とは一体何なのか。何か問題点が出ているか。

答　総務課長　市行政組織規則により部長、課長の職務が明記されている。市長から部長への指示伝達は、毎週月曜日の部局長会議で、周知徹底を図っている。特に問題は生じていないと承知している。

問　あいさつのできない課もまだある。指導体制をどのように考えているのか。

答　市長　それぞれの職員の個性もあり、適材適所の人事を行っているが、職員が一生懸命がんばらなければ市民の期待に応えることができないので、今後徹底的に指導をしていきたい。

問　議会本会議出席の管理職は35人であるが、なぜこんなに多く必要なのか。

答　市長　今は課長が全員出席しているが、来年度からは特別なことがなければ、部長だけの出席にしたいと考えている。

問　本市の条例の遵守は、どのような体制で行われているのか。

答　総務課長　条例ごとに、市の責務も明記されている。条例の適切な運用により、市政運営の執行の確保に努めている。

問　個人情報保護条例のファイル簿の作成と件数、運用状況の公表について伺いたい。

答　総務課長　現在総務課で管理しているファイル数は40であるが、各課で管理しているものもあるので、条例のとおり総務課に報告するよう指導していきたい。また、現時点では公表していないが、順次していきたいと考えている。

問　第1次総合計画基本構想について、内容が非常に漠然としているがどうか。

答　総務企画部長　審議会から基本構想、基本計画についても答申をいただいている。構想について議決をいただき、基本計画として構想との整合性を図りながら進めている状況である。

問　基本計画は、議会の議決事項ではないのか。

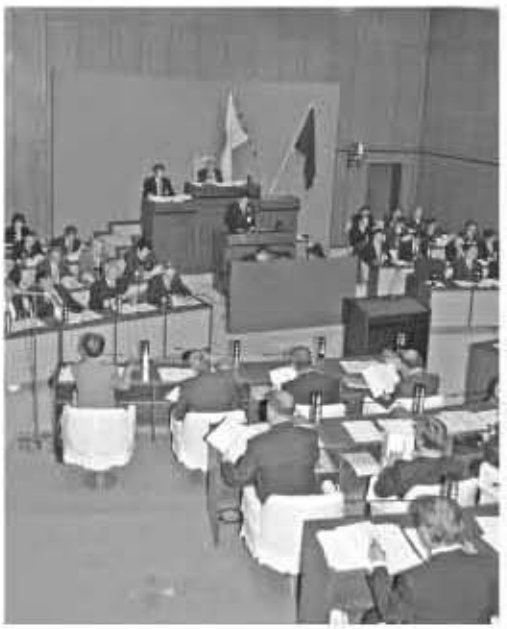
答　総務企画部長　市の総合的な計画としてまとめる基本構想は議決をいただくことになっており、今回総合計画の議案として提出した。

問　自治基本条例の制定前に基本構想ができているが、見解はどうか。

答　総務企画部長　自治基本条例は、自治体の憲法といわれる内容のもので、それに整合して各条例を合わせていくので、作業が必要になる。新市の建設計画に基づく、新たな総合計画の策定をしなければならないというスケジュールの中で進めてきた。

問　今後の合併構想について、どのような見解か。

答　総務企画部長　県の合併構想を参考に、地方分権時代にふさわしい自治体規模等について検討し、隣接する自治体との合併について、検討していきたい。



市長以下35人の管理職が出席する議会本会議。出席する管理職の見直しが望まれている。

市の財政 長期的な展望は

問　市の財政はこのまま行くとどうなるのか。

答　財政課長　このまま行政改革を行わずに財政運営を続けると、平成23年までの5年間で約14億円の累積赤字が見込まれる厳しい状況である。

問　市民生活から切り離せない水道事業、またバス事業の今後はどうか。

答　水道課長　琴川ダムの受水費も必要になり、現在の料金体系では上水道が年間約1億2000万円、簡易水道も約1億8000万円の赤字となり、料金改定が必要だと考えている。

答　市民生活課長　バスに係る市が負担する経費は単年で約8940万円、5年後には累計で約4億4700万円かかることになる。経費削減に向けて、観光的要素を含めた運行形態、運賃のあり方などについて検討していきたい。

一般質問
廣瀬重治議員

Q 人口減少に対する今後の具体策は

A 基幹産業を活発化させ最低限維持したい

問　市の人口減少に対する今後の具体策は、人口減少を受け入れての減少政策でいくのか、あるいは食い止め、増加という前向きな形でいくのか伺いたい。

答　総務企画部長　全国的な傾向として、今後本格的な人口減少時代に突入することが予測されている。本市においても、そのような推移がされているが、地域の基幹産業である農業や商工業を活発化させ、最低限でも維持を、どちらかというと増加させることに積極的に取り組んでいきたい。

問　新規就農者や団塊の世代の人たちを積極的に迎え入れるべきと思うが、どのような方向性を考えているか。

答　総務企画部長　都会の人たちが心を癒し、将来的に定住していただけるよう、本市の特性を活かし、今後調査しながら、施策としてまとめ上げていきたい。

新庁舎移転計画の進行状況は

問　新庁舎の移転計画について、旧シルクの改築計画の進行状況を伺いたい。

答　管財課長　本年8月21日に市土地開発公社と所有者で売買契約を結び、その後、所有権移転、抵当権解除手続きを済ませ、8月31日から土地開発公社が管理しており、平成20年度に一般会計で買い戻す予定である。現在、各課の意見を聞き取り、各階の平面図等を修正、検討している。今後、市民の意見や提案を聴くため、甲州市役所本庁舎移転改修整備検討委員会を立ち上げ、平成20年度で本設計に、平成21年度以降、工事着手する予定である。

問　防災の一番の拠点が移転するということで、工期などを短縮すべきであり、また今後立ち上げる検討会において、思い切った削減プランを第2案として提示すべきと考えるがどうか。

答　総務企画部長　庁舎移転計画の財源は、大方は合併特例債を充当していく。合併特例債は3年据え置きの返済であるため、工期年度を送ることにより、平成24年度までの実質公債費比率を18%以下に抑えることが可能となる。検討会については、経費削減へ向けてのプランも併せて検討させていただきたい。

問　シルクの地下部分に商業施設や図書館を設ける考えはあるか。

答　管財課長　塩山図書館が手狭になり、蔵書も10万冊を超えている。地下は面積も広く、蔵書が太陽光を直接浴びることもなく、図書館に大勢の人が集まると商業施設にも非常に有利になるため、今後検討していきたい。

問　学校給食の総合的な危機管理について、見直しはどのように行われたか伺いたい。

答　学校教育課長　各調理場の状況を把握し、峡東保健所、県教育委員会の指導を受け、連絡網の徹底を図った。特に週末から休日における体制については、職員間の情報連携を密にして意識の向上を図り、万が一の事態に対応できるよう研修を深めていきたい。

問　給食費の未払いについて、実態調査は行われたのか。

答　学校教育課長　給食費の徴収は、学校長に一任している。実態調査で平成18年度の未収金は無いが、本年10月末現在、未納額が103万7510円あり、年度内の徴収に努力していきたい。

問　給食費の未納が学校長の責任になることに問題があると考える。徴収については、学校任せではない方法も考えるべきだと思うがどうか。

答　学校教育課長　過去に教育長名で督促状を出し、徴収について保護者の方々にご理解いただいた経過もあるので、学校と教育委員会双方で連携をとりながら、万全を期していきたい。

蔵書も10万冊を超え、手狭になった塩山図書館。旧シルク地下部分への移転も検討されている。

一般質問

古屋匡三議員

Q 観光課を勝沼庁舎へ置く考えは

A 勝沼庁舎か本庁舎の方が自然

合併時の協定事項で観光課が配置されている大和庁舎。観光行政の柱として、職員や課の配置の再検討が望まれている。

問　観光行政と職員配置について、適材適所で効率化を図ると聞くが、成果を上げていないのではないか。また観光課を勝沼庁舎に置くべきだと思うが、市長の考えを伺いたい。

答　市長　全庁的に職員に課せられた事務は増大しているが、観光行政は重要な柱であり配慮したが、成果が出なかった部分もある。観光課は、合併時の協定事項で1つの課をすべての庁舎に設置するということにより大和庁舎にあるが、勝沼庁舎か本庁舎の方が自然ではないかと考えている。

問　京都に行き、観光PRをしてきたとのことだが、突然の話であり準備不足ではなかったか。もう少し効果のあるPRをお願いしたいがどうか。

答　観光産業部長　武田の聖地、甲州市をテーマに、キャラバン隊による甲州市風林火山大型キャンペーンを京都で実施した。今後も、市内外から多くの人々が集まるイベントなどを活用した、情報の発信を強化していきたい。

問　勝沼地域には歴史的文化遺産や近代産業遺産が多くあり、これらを結ぶ散策路がいくつかあるが、トイレや案内など設備が整っていない。また、11月から運行が始まった縦断バスも、文化遺産をつなぐところに停留所が無いが、工夫できないか。

答　観光課長　来年度は近代産業遺産整備事業において、サインシステムの整備を行う予定である。今後は市民バスの観光面での利便性の向上策や、外国語パンフレットの提供など、魅力ある観光地づくりを進めていきたい。

問　耕作放棄地や遊休農地を体験農園にするなど、農業や農地の観光への利活用について、調査はしているか伺いたい。

答　観光産業部長　農業は魅力的な観光資源である。観光農業の発展や遊休農地の利活用を図るため、市民と都市住民の交流施策の強化や、観光地づくりへの取り組みに対する集中的な支援も考えていきたい。

問　観光振興に向けた、環境美化の姿勢はどうか。

答　観光課長　美しい環境は観光客を引き付ける大きな魅力であり、環境に配慮した地域づくりを市民の皆様とともに推進していきたい。

問　商工会とワイン産業の連携について、ワイン商工担当を設けて多様な分野で振興に努めるとのことだったが、具体的な対策は。

答　観光課長　地域産業を最大限に活かし、年間をとおした魅力ある複合的な観光振興の推進に努めていきたい。

問　ぶどうの丘の管理運営について、支配人と市の職員はどのような位置付けか。また支配人に対して、管理運営の指導をしているのか伺いたい。

答　市長　区分けとして全体的な施設を支配する支配人、市職員は事務局長と経理担当という区分けで、管理者として直接本人に指示を出している。

問　有害獣防護柵について、台風などで被害がでた場合に、何らかの援助をする制度をつくっていただきたいがどうか。

答　農林商工課長　設置後の保全、維持管理のため、管理組合等を立ち上げていただき、市は当該管理組合へ助成をしている。自然災害による大規模な破損の場合は、その状況により対応している。

自治公民館 設備や整備への助成を

問　自治公民館の設備や整備について、助成を考えていただきたいがどうか。

答　生涯学習課長　自治公民館は住民の自治で設置、運営される公民館であり、地域づくりの場として活動の拠点となっているが、助成については今後検討していきたい。

一般質問
野尻陽子議員

Q 塩山市民病院 産科の経過と市長の考えは
A 峡東地域で産める体制を確保したい

問 塩山市民病院産科の経過と今後について、市長の考えを伺いたい。

答 市長 現在2人の医師と交渉をしているが、できるだけ早く塩山市民病院の産科で、子どもを産むことができるよう努力をしている状況である。

問 出産の方法も、施設の助産師で産む選択、自宅に呼んで手伝っていただく選択、病院で産みたいという人は、遠くでも行くという選択が可能なようにしていただきたいがどうか。

答 市長 助産師でお産ができるという方法は考えており、厚生病院との話し合いは続けているが、厚生病院の立場、医大との関係もあるので配慮はしている。塩山市民病院、もしくは峡東地域で産めるような体制づくりは、確保したいと考えている。

問 井尻小学校工事の問題点について、技術の未熟という表現が使われているが、具体的に何を意味するのか。また、なぜ起こったか、問題箇所の広がりはどの程度か伺いたい。

答 建設課長 約30年前、当時はコンクリートの打設が、人力打設からポンプ打設に移行する時期であり、請負会社がこの作業に精通していなかったこと、会社の自主管理責任が欠けていたことにより起きた工事であったと考えている。また広がりについては、躯体コンクリートに豆板や鉄筋のさびによる腐食が多数見受けられ、すべてハツリ調査により把握している。

問 建物全体に広がっているのに、なぜ検査でわからなかったのか。

答 建設課長 建設当時は、定期的な現場打ち合わせ、また各工程検査、完成検査等を実施したとのことであるが、状況は把握できなかったと聞いている。

問 井尻小と同時代に建てられた建物の安全チェックは行っているのか。

答 学校教育課長 同時代に建設された建物は4ヵ所あるが、耐震診断を実施中が1ヵ所、耐震診断を実施済みが3ヵ所である。

問 今後二度と起こらないためには、業者との緊張関係を保つことが必要だと思うが、どのような方策を考えているのか。

答 副市長 甲州市公共事業管理マニュアルを策定する予定である。

甲州市の地球温暖化対策は

問 本市における地球温暖化防止対策は、具体的にどういうものがあるのか。

答 環境課長 甲州市役所地球温暖化対策実行計画を本年8月に作成し、平成18年を基準年とし平成23年度までに電気料、ガソリン使用料、水使用料等の事務事業に伴い排出される温室効果ガス総排出量を3%以上削減することを目標に実施している。また、甲州市地球温暖化対策地域推進計画の策定を進めており、現在市民の意見を聴いているところである。

問 甲州丸の行き先として、県立射撃場は適当か疑問に思うがどうか。

答 市長 寄附をいただいた方に失礼にならないよう活用を検討してきたが、国際競技ができるすばらしい施設を県に要望したい。

問 本市の財政は改善方向に進んでいるのか。

答 財政課長 実質公債費比率も平成24年度には18%以下になる計画であり、財政力指数も上昇しており、改善方向に進んでいると考えている。

問 平成18年度決算で、山梨市は総務費を減らし民生費を増額しているが、本市では逆で、市民の福祉に使われる民生費が減額されている。自らの身を削ってから市民に協働をもとめるのが筋だと考えるがどうか。

答 市長 同じ総務費でも、地方公共団体により予算計上の仕方が違うので、単純に比較はできないと考えている。

産科の再開に向け医師との交渉が続けられている塩山市民病院。助産師での出産も望まれている。

一般質問
平塚　義
議員

Q 水道料金の値上げ 状況と住民への対応は

A 健全な会計にするために値上げは必要

問　水道料金の値上げについて、状況と住民への対応をどう考えているのか。

答　水道課長　合併協議において統一を目指すとあるが、未だに統一されていない。平成20年4月から峡東地域広域水道企業団から受水が開始され、受水費用が上水道で1億5000万円、簡易水道で1億3000万円かかる。水道審議会から、今回は統一料金を見送り、最小限の値上げとし、簡易水道は、公平性の観点から上水道と同一料金にすることとした。今回の改定案は極力抑えたものであり、ご理解いただきたい。

問　料金の統一は承知しているが、特にワイン産業など水を大量に使う会社などを考慮し、5割を切るような値上げ案はできないか。

答　市長　現状でも塩山地域と勝沼地域には50円の格差があり、値上げをしても年間5500万円ほどの赤字が生じる予定だが、いかに格差を埋め、統一に踏み切るかという状況である。健全な会計にするためには値上げが必要であり、ご理解いただきたい。

問　水道企業会計の決算書からは、余剰金が平成18年度約3297万円繰り入れられている。こうしたお金を利用し、値上げの緩和はできないか。

答　水道課長　水道企業会計は、かかる経費も水道料で賄うという公営企業法があり、改定しなければ年間約1億2000万円の赤字欠損金が生じてしまうので、これ以上の欠損金は避けなければならない。

借り入れの償還のために、一般会計へ繰出金をしているぶどうの丘。赤字にならないよう経営状況を勘案した協議が望まれている。

問　地域総合局の職員配置について、人口比に対して適切に配置されているか伺いたい。

答　総務企画部長　各総合局では、本課で行う事務事業などの事務分掌が明記され、本課と日常的にやり取りをし、連携して業務を進めている。配置も適正であると考えている。

問　保健師を塩山の保健福祉センターに集めたが、支障はなかったか。

答　総務企画部長　保健師の業務も従来の形から専門化され、法令も多種多様となり、制度改正も含め非常に業務量が多くなっている。集中的配置、責任担当を前提として体制づくりをしており、万全な取り組みを実施したいと考えている。

平成20年春には農振除外受付を開始

問　勝沼地域の畑総事業の進行状況を伺いたい。

答　農業土木課長　11月に県から事業実施期間を平成20年度から24年度までの5年間で、総事業費17億2000万円の内示を受けたところである。

問　農振除外の受付が始まらないが状況はどうか。

答　観光産業部長　農業振興地域整備計画を策定中であり、県と協議しているが、平成20年春には受付を予定している。

問　暫定条例の原産地呼称ワイン認証制度の現状は。

答　農林商工課長　ワイン原産地呼称制度検討委員会を設置し、協議しているが、今後答申をいただき、制度化する予定である。

問　それぞれのイベントについて、今後どのように統合していくのか。

答　観光課長　本市には数多くのイベントがあり、伝統あるものとして引き継がれているが、今後観光振興計画を策定し、各団体とも検討しながら、地域のイベントとして残すもの、市を代表する新たなイベントづくりの検討も含め、見直しをしていきたい。

問　ぶどうの丘から一般会計へ繰出金がある。そのことにより赤字になっていると思うがどうか。

答　ぶどうの丘事務局長　繰出金は、過去一般会計において有利な起債により整備した施設についての、借り入れに係る償還金であるが、今後は経営状況を勘案し、市当局とも十分協議していきたい。

一般質問
矢野義典議員

Q 子ども読書活動推進計画の策定を
A 計画策定に向け検討していきたい

問　さまざまな情報メディアの発達、普及や子どもたちの生活環境の変化により、読書離れが指摘されている。平成13年に子どもの読書活動の推進に関する法律が施行されたが、甲州市子ども読書活動推進計画の策定を提言するがどうか。

答　**生涯学習課長**　読書活動は、子どもが豊かな情操を磨き表現力や想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、極めて大切なものである。子ども読書活動推進計画策定に向け、研究しているところであり、さらに検討していきたい。

問　策定する場合、策定委員会の設置と委員の人選に対する考えはどうか。

答　**生涯学習課長**　策定委員を構成する際には、図書館協議会や図書館ボランティアなど、幅広い視点から意見を聴きたいと考えている。

多くの子どもたちに利用されている神金小学校の学校図書室。子どもたちの読書環境整備のため、子ども読書活動推進計画の策定が望まれている。

問　赤ちゃんに絵本を贈るブックスタート事業の実施を求める声が多く寄せられている。早期に導入を要望するがどうか。

答　**生涯学習課長**　現在は1歳のお誕生日検診で図書館職員が出向き、ブックスタート等の説明を行っている。来年度に実施できるよう検討したい。

問　学校施設は災害時の避難場所として、重要な役割が求められているが、学校施設の防災機能の整備状況を見ると、防災倉庫、自家発電、浄水設備などの整備が遅れている。避難所指定校の防災機能の整備を提言するがどうか。

答　**総務課長**　地震防災対策強化地域指定における校舎の整備、補強などは年次計画で進めている。防災機能の整備は、順次計画的に行っていきたい。

問　災害にも影響を受けず、瞬時に立ち上げ可能な災害緊急情報システムの構築が求められている。遠隔地に、待機用を設置することが必要と考えるがどうか。

答　**総合政策課長**　行政情報データのバックアップ体制の確立は、災害時における住民情報並びに業務データの喪失を回避し、確実なデータ保護と行政機能の迅速な復旧に欠かせないものである。先進的な自治体の動向を見ながら、費用対効果に優れた、安全性の高いシステム構築に向けて検討していきたい。

問　本市の過疎集落の実態を伺いたい。

答　**総務企画部長**　平成18年度の調査によると、大和地域が65歳以上の高齢者は30％、15歳以上30歳未満の若年層は15％であり、少子高齢化が進んでいる地域と言えるが、地域の要望や意見を把握しながら、住民福祉対策、生活環境の整備、生活の安全確保に努めていきたい。

問　集落の暮らしを守るための支援策を急ぐ必要があると思うがどうか。

答　**総務企画部長**　少子高齢化対策、有害鳥獣対策など各種ハード事業のほか、地域総合局を中心に各種サービスの提供に努めていきたい。

公共工事の総合評価落札方式の導入を

問　公共工事の談合と不正入札防止等の観点から、総合評価落札方式の導入が必要と考えるがどうか。

答　**管財課長**　総合評価落札方式はメリット、デメリットがある。導入については、各市の動向を見ながら検討していきたい。

問　市の管理職を地区の行政連絡員として、行政宅配サービス制度の導入を進めるべきと思うがどうか。

答　**市長**　住民票等の証明書類を市職員が配達する宅配サービスは、画期的なことと考えるが、実施自治体の状況を見ると、利用者は極めて少なく、課題もあるようである。市民サービスの向上に向け、関係する各課へ指示し、取り組み内容を協議していきたいと考えている。

一般質問
夏八木盛男議員

Q各地域総合局へ保健師の配置を
A可能な限り地域に出向いて活動

各総合局から塩山保健福祉センター等に配置された保健師。身近な存在として、各総合局への再配置が望まれている。

問　勝沼、大和総合局に保健師が不在だが理由は。また、総合局に置くべきだと思うがどうか。

答　福祉保健部長　保健福祉センターで相談を待つことばかりが保健師の仕事で無く、可能な限り地域に出向いて活動をしている。児童虐待や老人、生活困窮者の医療相談等関係各課との連携が必要なため、統一した考えで活動する事が大切である。新しい体制の内容が理解されるよう広報を積極的に行い、改善できるものは改善したい。

問　健康診断について、勝沼地域では4農協、4地区で実施していたが、総合局1ヵ所になり、市民から不満の声が出ている。4ヵ所に戻すべきだと思うがどうか。

答　健康増進課長　勝沼地域の住民から、利便性を考慮してほしいとのご意見等があった。また、40歳から74歳までの受診率の向上が求められているので、実施できる場所を検討して、4地区での実施を考えていきたい。

問　NHK大河ドラマ「風林火山」があり、各種イベントやキャンペーンを行ったと思うが、その効果はどうか。

答　観光課長　市内武田家関連の名所・旧跡を巡るスタンプラリー、風林火山大型キャンペーン、駅からハイキング、フォトコンテストの実施、ポスターの作成など各種事業を展開したところ、史跡への来訪者は目に見えて増加したが、土産品の販売は伸びていない状況だと聞いている。

問　近代産業遺産の大日影トンネルは、開通以来多くの観光客が訪れているが、車で来た方で、駐車場が無いとあきらめて帰ってしまったという話を聞いた。近くに土地を無償提供してくれる方もあるようだが、駐車場の確保について考えを伺いたい。

答　観光課長　既存の駐車場の活用を含め、可能であればトンネル遊歩道の出入り口周辺にも駐車場を確保したいと検討している。

フルーツライン交差点 信号機の設置を

問　フルーツライン沿線の整備について、平成20年4月に供用開始の予定だが、交通量も増え事故の確率も高くなっている。三光寺交差点の信号設置は、地元から警察署にもお願いしてあるが、当局からも実現可能になるよう要望していただきたいがどうか。

答　農業土木課長　日下部警察署からは、供用開始後の交通量調査を踏まえ検討するとの返事をいただいている。交通事故の未然防止を図るために、引き続き関係機関に働きかけを行っていきたい。

問　信号機設置は、菱山地区の長年の願いである。市長の意見も伺いたい。

答　市長　非常に危険な交差点ということは認識しているので、全力で努力していきたい。

問　景観もすばらしいフルーツライン沿線を、宅地化して若い方を受け入れることも良いと考えるが、農業振興地域のため供用開始から8年は農振除外が難しいと聞く。県へ農振除外の早期実現を図っていただきたいがどうか。

答　農林商工課長　農地転用には規制があり、農地以外の用途が必要かつ適当であって、他の土地では代えることが困難であること、周辺農地への影響が無いこと、土地改良施設への影響が無いこと、事業完了の翌年から8年間経過している、という要件を満たすことが必要であり、農振除外は難しいと考えている。

問　フルーツライン沿線に、水道の設置を提案したいがどうか。

答　水道課長　浄水場計画の進行や給水箇所を十分調査し、実現に向け検討していきたい。

わたしのふるさと⑥

みんな親切で 友だちも親戚もたくさん

フィリピン共和国ボホール島

渡辺ラクエルさん（塩山上於曽）

わたしは、1989年9月にフィリピンから日本にやってきました。フィリピンのボホール島のゼーラブルーネスという小さな町出身です。子どもの頃は川で泳いだり、魚を捕まえたりしました。その他にも、木に登って果物を採って遊びました。夜になると空には、たくさんの星が出てきて、すごくきれいです。小学校は1年生から6年生までであります。小学校では2年生から英語を習います。高校は1年生から4年生までであります。わたしの家族は、兄妹が12人もいる大家族です。わたしの両親は、わたしのふるさとに住んでいます。父は元町長をやっていました。母は元小学校の先生でした。

わたしの故郷の人は、みんな親切です。友だちも親戚もたくさんいて、すごく良いところです。

甲ちゃんだよ!!

No.6 「素人判断」 作・三森 潤

傍聴してみませんか？

市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひお出かけください。

■傍聴席入口で受付簿に氏名、住所を記入し入場していただきます。

■日程などについては、定例会前の議会運営委員会で決定しますので、決まりしだい市議会ホームページなどでもご案内します。なお、ご不明な点については、議会事務局までお問い合わせください。■(32)2111 内線302

次回の定例会は3月中旬の開会を予定しています。

※訂正 議会広報第8号、6ページの平成18年度決算、一般会計総務費の文中、区長報償費の均等割りの金額について、誤りがありましたので訂正いたします。8200円→82000円

こちら編集室

■12月定例会も終了し、合併以来3回目の正月がやってきました。大晦日に見た紅白歌合戦も昔と違って、出て来る歌手のほとんどは知らない名ばかりでした。それだけ歳をとって世間の話題に疎くなったのかと、少なからずショックを感じたのは、わたしばかりでしょうか。

■甲州市議会もわたしたちの任期は、2年を切りました。残された時間の中で議会活動の成果を結果として上げていかなければなりません。この議会広報も開かれた議会のために議員たち自身の手で編集することが大切なところです。しかし、他の議員の発言を編集することの難しさは、回を重ねても毎回悩まされるところで、できるだけ発言に忠実に編集したいが、ごく限られた文字数で表現しなければならないので要点のみとなります。一字一句たりとも発言者の言葉を削除することは本当に神経を使うところです。もっと読みやすく、もっと興味を持ってもらえるようにしたいという思いは編集委員全員の共通の心内だと思いますが、なかなか思うようにできないことです。（重）

■議会広報編集委員会

市議会議長	佐藤 栄也
編集委員長	武藤 雅美
副委員長	中村 勝彦
委員	曽根 益彦
委員	廣瀬 重治
委員	丸山 国一
委員	桐原 正仁

有料広告

三日月堂株式会社
オフィス関連商品・文房具
ピアノ・書道・美術

MIKAZUKIDO CO.,LTD

OA機器・オフィス家具などを中心とした［オフィス関連商品］、文具・学習教材などを取り扱っている［文房具］。
そしてピアノ・書道・美術教室からなる［三日月音楽館］から"三日月堂株式会社"は成り立っております。

〒404-0042 山梨県甲州市塩山上於曽 1104-3
TEL：0553-33-2042（代表） FAX：0553-33-6007
URL：http://mikazukido.dezin.jp/

市議会広報 甲州
『有料広告』を募集!!
（年4回発行 11,650部）

■甲州市議会では、市議会広報の紙面に掲載する有料広告を募集します。発行は、年4回開会される定例会（3月、6月、9月、12月）閉会日の翌月末日の4回です。

■お申込み・お問合せ 市議会事務局 議事担当☎32−2111内線302

甲州市議会広報No.9
発行 甲州市議会
発行責任者 甲州市議会議長
編集 議会広報編集委員会
〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曽1040番地
TEL.0553-32-2111内線302 FAX.0553-32-3122
メール gikaijimukyoku@city.koshu.lg.jp
この印刷物は再生紙を使用しています。